

温暖化を防ぎ生物多様性確保に向けて

—自然林再生専門家研修（2019）—

NPO 法人国際ふるさとの森づくり協会（レナフォ）

● 地球温暖化が深刻化する今、自然林を再生して子孫の命を守ろう

世界各地で巨大ハリケーン・台風による洪水や、干魃・山火事による犠牲者が年々増加しています。CO₂ の濃度はなお上昇を続け、気温は毎年記録を更新しています。今や市民が他人頼みではなく、自ら立ち上がり、子孫の命を守るために温暖化防止に具体的な行動を起こす時ではないでしょうか。

自然林は CO₂ を吸収して温暖化防止に貢献するだけでなく、多様な生物の生存拠点となります。さらに、津波・火災・水害・斜面崩壊などの災害から人々の命を直接守る防災効果を発揮します。

人類が破壊し続けてきた自然林を再生することが、今すぐに誰でもできる具体的行動の一つです。そのためには哲学から現場技術まで一貫した知識を身につける必要があります。あなたも、大きな課題に向けた第一歩を踏み出してみませんか。この研修はあなたが自然林再生の専門家になるための本格的なコースです。

ここでいう「自然林」とは科学的知見に基づきその土地の郷土樹種（潜在自然植生種）を多種類選定し、その苗木を混植・密植することで多様な森林を速やかに再生創造する方法です。

この研修は従来「ふるさとの森づくり専門家研修」として 10 回実施し、既に 136 人の専門家（植生工学士）が誕生し、東日本大震災被災地で森の防潮堤づくりを提案実施したり、学校敷地での自然林再生を行ったりなど、地道ですが大きな活動をしています。今回 11 回目を迎え、よりわかりやすい名前「自然林再生専門家研修」に変え、実施することとなりました。

● 研修後取得する資格

研修最後の試験にパスすると、次の資格が取得できます。

資格名：「植生工学士」（ふるさとの森づくりマイスター） 【商標登録第 5351787 号】

● 研修カリキュラム（別紙カリキュラム参照）

鈴木邦雄氏（横浜国立大学前学長）、原田洋氏（横浜国立大学名誉教授）、矢ヶ崎朋樹氏、林寿則氏ら生態学研究者のほか、豊富な実務経験者を講師に迎え、哲学から現場実習まで中身の濃い研修です（講師・時間割など変更の可能性有）。

● 研修の日時と場所

日取り (3連休)	研修場所	アクセス
7月13日 (土)	帆船日本丸訓練センター第3教室 (Tel: 045-221-0281) (〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2-1-1)	みなとみらい駅・ 桜木町駅・馬車道駅直近
7月14日 (日)	湘南国際村 (担当者携帯 090-7227-7904) (神奈川県横須賀市の現場)	JR 逗子駅より京浜急行 バス 30分
7月15日 (月)	横浜情報文化センター (Tel: 045-664-3737) (〒231-0021 横浜市中区日本大通 11 番地)	みなとみらい線 日本大通り駅直近

● 研修参加申込

参加費： 55,000 円

参加申込期限： 7月6日

参加費振込み口座：

ゆうちょ銀行 記号：10040 普通預金 口座番号：87596431

口座名称： 特定非営利活動法人国際ふるさとの森づくり協会

参加申込方法： 当協会のホームページ、Fax、電話でお申込み下さい。

不明な点はいつでもお尋ねください。

参加申込、お問い合わせ先



NPO 法人 国際ふるさとの森づくり協会
高野義武 (携帯 090-7227-7904)
〒389-1223 長野県上水内郡飯綱町袖之山 497-4
Tel 026-253-4740
Fax 026-219-1203
mail info@renafo.com
ホームページ <http://www.renafo.com/>